

千葉県知事 講演

～県内大学等と知事との意見交換会～



令和6年7月16日（火）
千葉県知事 熊谷 俊人

本日本話しする内容

- 1 多様性が尊重される社会づくり
- 2 千葉経済圏の確立
- 3 県の将来を支える人材の育成

1 多様性が 尊重される社会づくり



1 多様性が尊重される社会づくり

☑人口減少など様々な社会環境の変化

☑東京2020オリンピック・パラリンピックの開催

☑成田空港の更なる機能強化

「多様性尊重条例」制定 (R6.1.1施行)



様々な違いがある個人として尊重され、誰もが参加し、
その人らしく活躍することができる社会の実現

【普及啓発】

多様性尊重の意義
理解促進

➡ 普及啓発、男女共同参画の推進

【人材育成】

多様な立場の人
活躍できるよう育成

➡ 外国籍の子供の就学支援、
リカレント教育の推進

今年度の 県の主な取組

【相談・支援】

生きづらさを抱えている人
相談・支援

➡ 女性自立支援、LGBTQ相談、障害者就労

【環境整備・マッチング】

様々な人が活躍できる
生活・労働環境 整備

➡ 外国人材の活用、パラスポーツ普及

多様性尊重の共有

～多様性尊重に関する「普及啓発」～

- ☑「ちばダイバーシティ宣言」(R6.6.16)

県と様々な方が共同宣言するイベントを実施



- ☑啓発動画やリーフレットの作成

「多様性尊重条例」の趣旨・内容をわかりやすく解説

- ☑企業向けセミナー

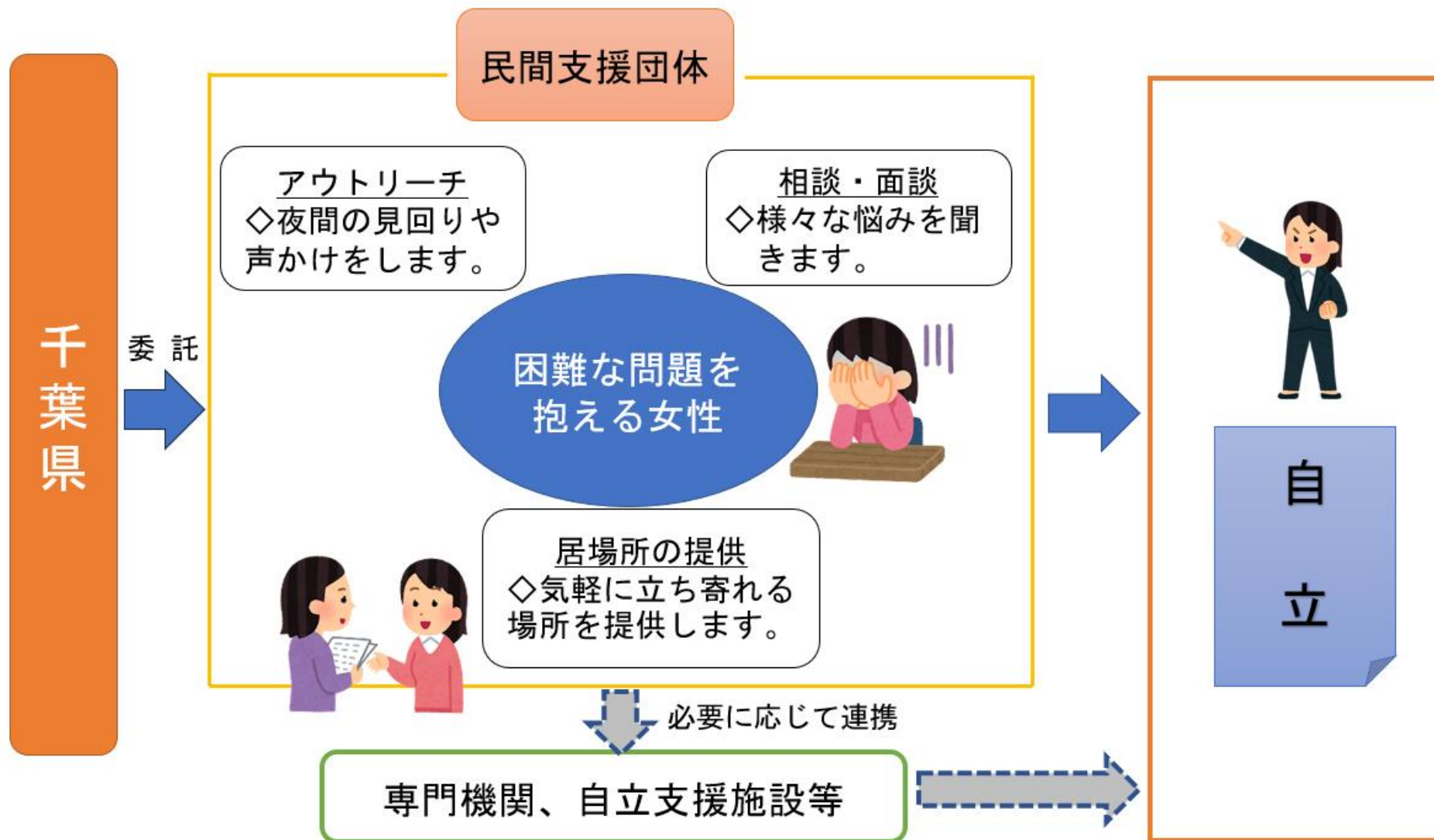
先進事例を紹介するセミナーを開催

➡企業の取組を後押し！

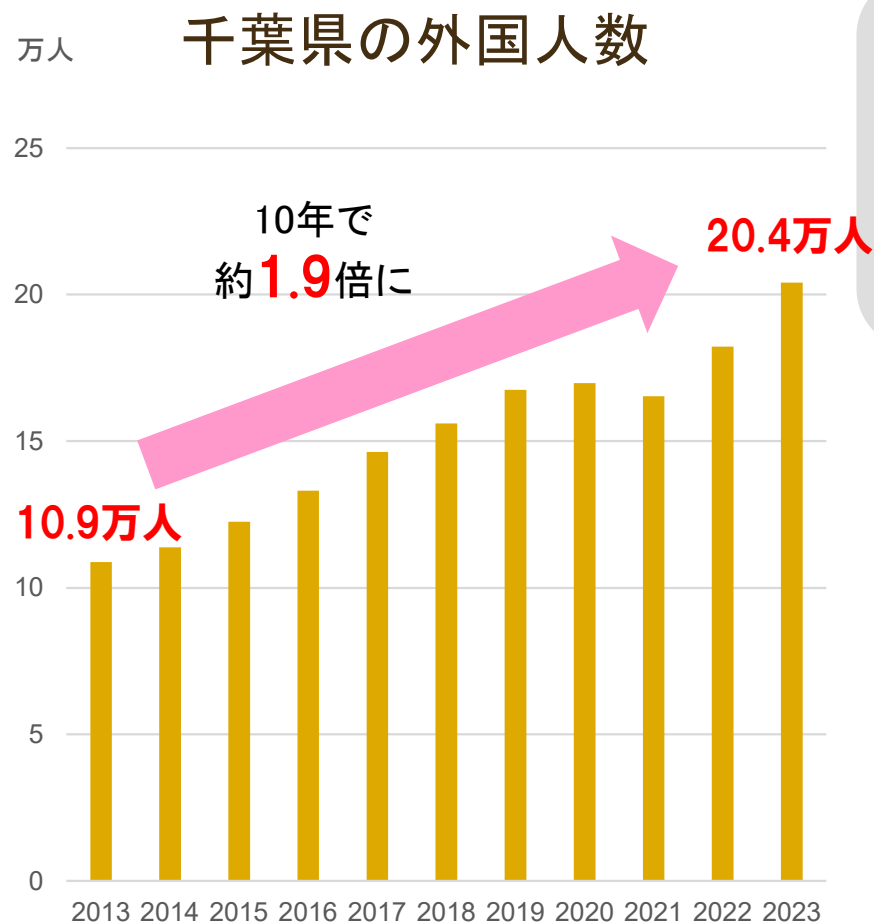


千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

困難な問題を抱える女性の自立支援



地域における日本語教育の推進



出典：出入国在留管理庁

日本人と外国人の双方が安心して暮らすことのできる地域づくり

日本語教育環境の整備推進

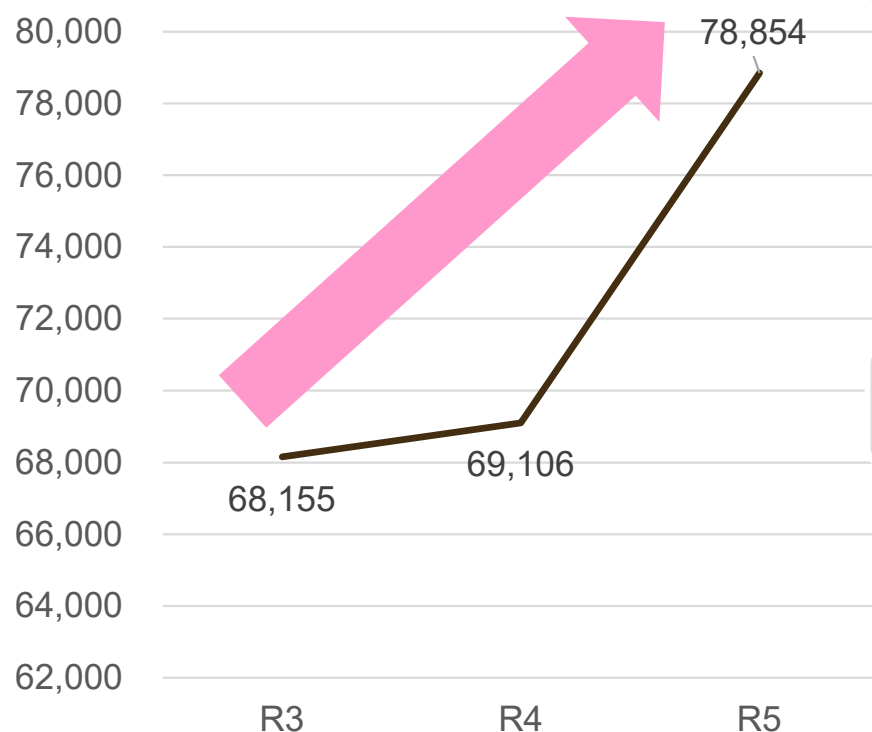
【主な事業】

- 地域の日本語教育に係るコーディネーターの配置(2名)
- 日本語ボランティア育成研修(R5:4回)
- オンラインによる地域日本語教室の開催(R5:参加9名)

外国人材の就労促進

～中小企業における外国人材活用支援～

外国人労働者数の推移



出典：千葉労働局

企業向け

- 外国人材採用・定着セミナー（2回）
- 合同企業説明会（2回）

留学生向け

- 合同企業説明会（2回）
- 就職支援講座（4回）
- 県内企業職場見学会（2回）

障害者就労の促進に向けたきめ細かな支援

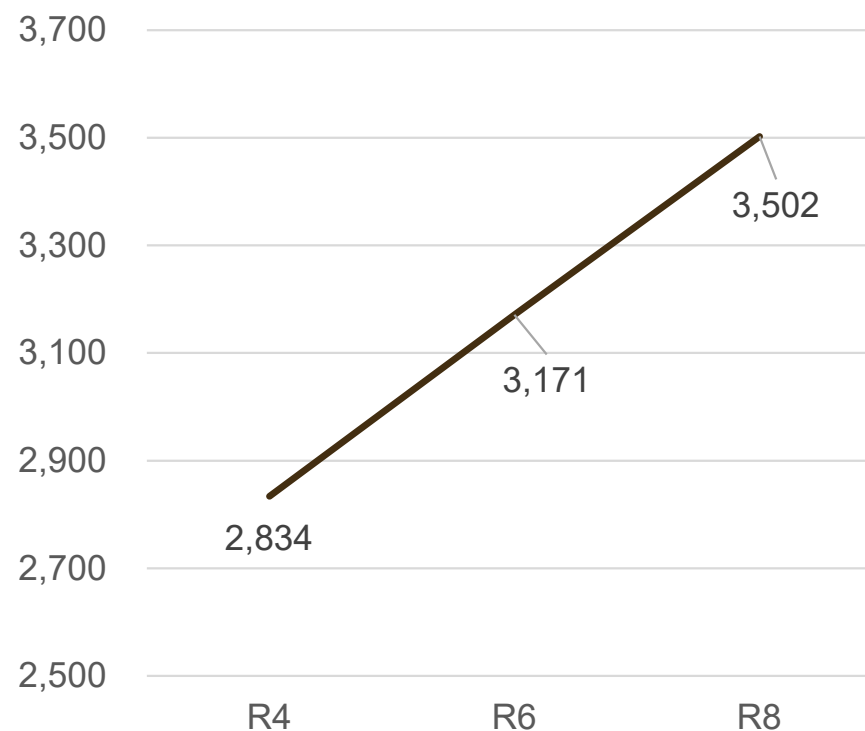
～法改正による法定雇用率の引き上げ～

「法定雇用率」の引き上げ
(R6: 2.3% → 2.5%)



雇用義務が生じる企業
が増加する見込み

雇用義務対象企業数



障害者就労の促進に向けたきめ細かな支援 ～支援の充実・体制強化～

意欲醸成・理解促進

【意識改革】

・企業見学・交流会

企業向け ……18回(+5)

障害者向け……5回(+2)

・職場実習

受入企業 ……60社(+30)

参加障害者・120人(+60)

マッチング

【雇用サポート】

・雇用促進セミナー

・ビジネスマナー

研修 職場実習

職場定着

【企業支援員】

・企業訪問

支援センターに

支援員19名(+3)配置

【キャリアセンター】

・相談対応

研修会や意見交換会(拡充)

※カッコ内はR5年度比

障害者がスポーツを身近に親しめる環境づくり ～「パラスポーツ」の振興～

1 パラスポーツフェスタ開催（2回）

「体験会」や「対抗戦」を実施

➡「パラスポーツ」を通じた交流・普及促進



2 パラスポーツ教室開催（3回）

県立特別支援学校体育施設を活用

➡身近な地域で

「パラスポーツ」を体験できる機会を提供



LGBTQに関する支援施策

「LGBTQ」に関する相談体制整備

LGBT理解増進法（R5.6施行）

多様性尊重条例（R6.1施行）



相談窓口の開設

当事者等が抱える不安や悩みに相談員が対応

- ・電話相談（月2回程度）
- ・メール（随時受付）

LGBTQに関する支援施策

県営住宅の入居要件緩和

同居者要件緩和

「パートナーシップ制度」
で宣誓した

同性パートナーも
入居可能に！

※6月議会で改正条例が可決

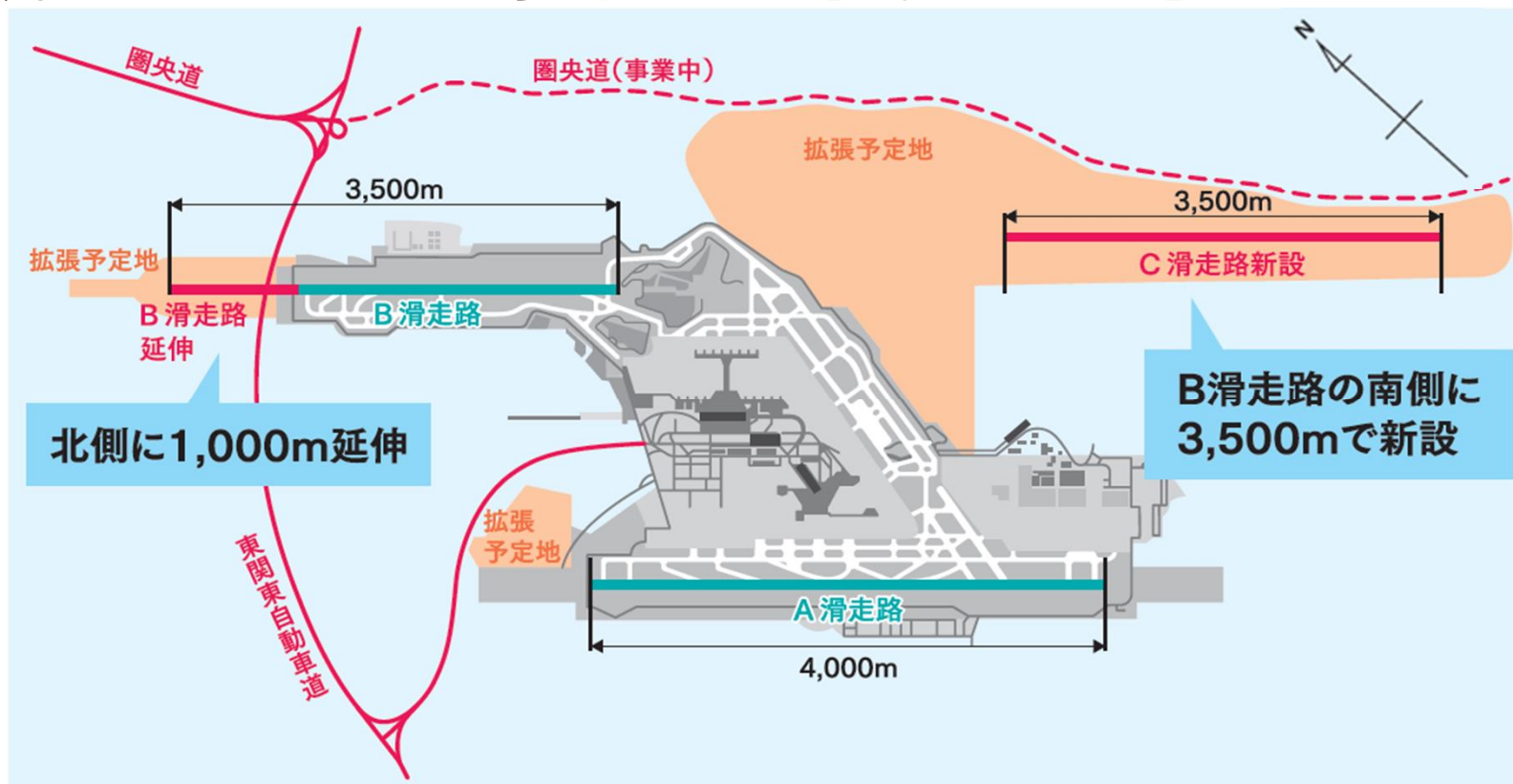
県職員の休暇・手当の対象拡大

同性パートナーのいる
県職員も法律婚や事実婚
と同様に

「結婚休暇」「扶養手当」等
の対象(R6.4～)

2 千葉経済圏の確立

成田空港の更なる機能強化 (R10年度末予定)



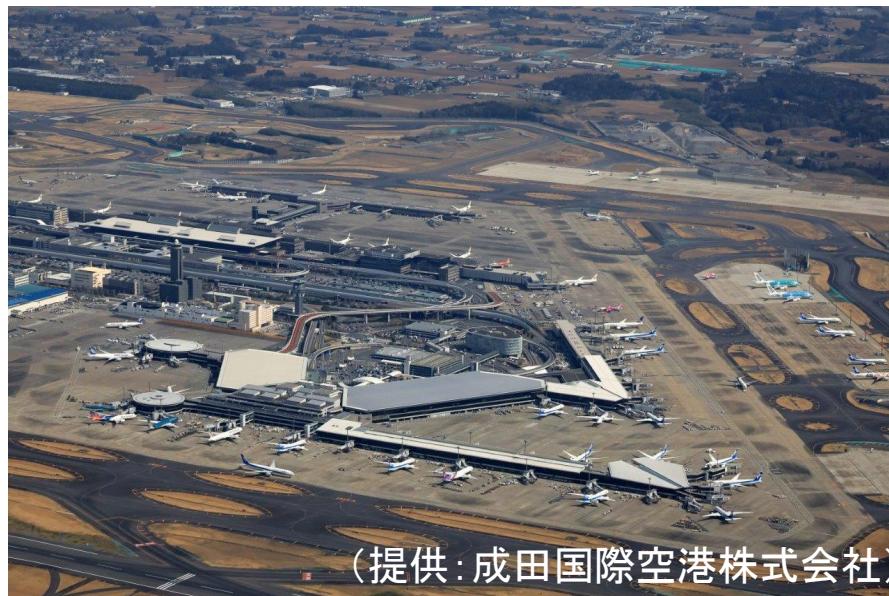
「**空港敷地**」
拡大
約1,200ha
→約**2,300**ha

「**年間発着容量**」
増加
30万回→**50**万回

「**旅客数**」
約4,000万人→約**7,500**万人
(H29年)
「**貨物取扱量**」
約200万トン→約**300**万トン
(R元年)

「**空港内従業者数**」
増加
約4.3万人→約**7**万人
(H29年)

成田空港～日本最大の貿易港～

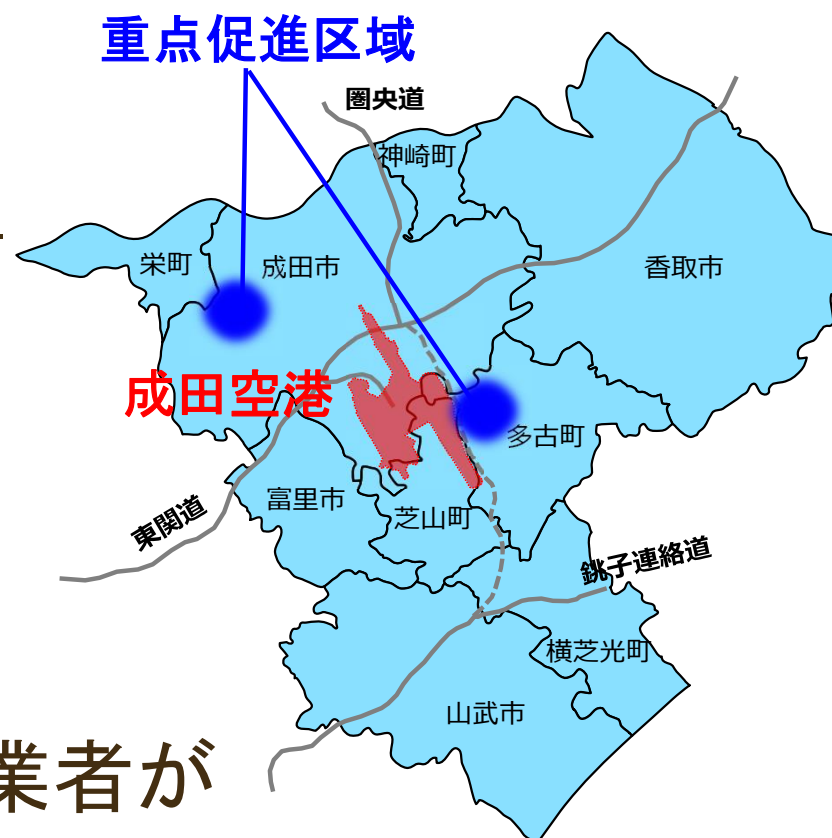


(提供：成田国際空港株式会社)

- ・輸出入総額 **全国1位** ※海港含む
(輸入額 全国1位、輸出額 全国2位)
- ・国際航空貨物の全国シェア 約 **65%**

成田空港周辺の土地利用規制の弾力化

- 成田空港周辺における
土地利用規制の弾力化を実現
農地を含む土地を「事業用地」
として選定することが可能に!

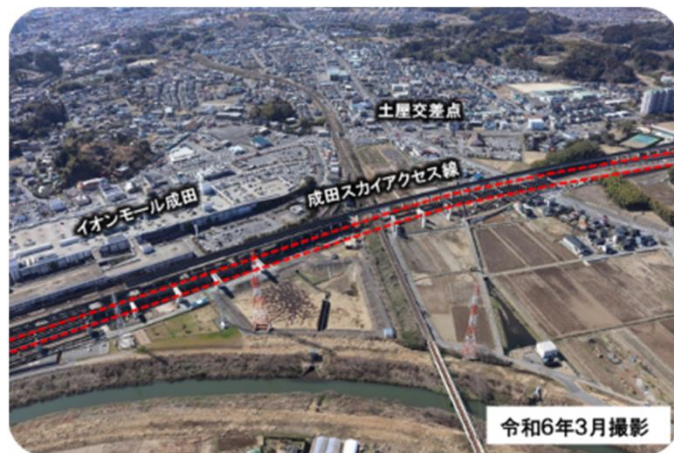


成田市、多古町で民間事業者が
大型物流拠点整備の開発計画を進める!

2 千葉経済圏の確立

道路ネットワークの整備促進

北千葉道路（成田市押畑付近）



長生グリーンライン（長南町～茂原市）



圏央道 大栄ジャンクション付近



銚子連絡道路（横芝光町～匝瑳市）



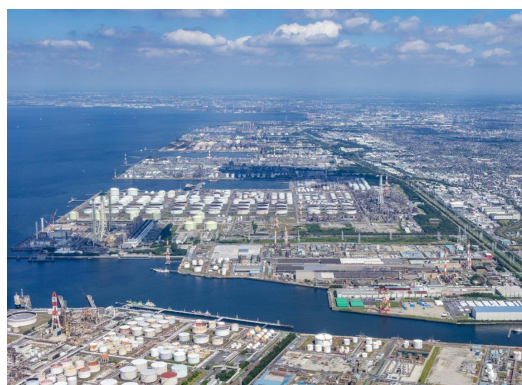
企業誘致活動の活性化！

～企業立地動向～

R2	R3 (対R2)	R4 (対R2)	R5 (対R2)
69件	70件 (+1)	98件 (+29)	84件 (+15)
91.8ha	120.8ha (+29.0)	258.3ha (+166.5)	184.0ha (+92.2)

(企業立地動向調査より)

京葉臨海コンビナートの 国際競争力強化と脱炭素化の両立



国内最大級のエリア

鉄鋼、石油精製、石油化学、エネルギーなど
多業種にわたり、日本有数の企業が立地

我が国の産業を支える重要な役割

【主な立地企業】



出所：環境省「部門別CO₂排出量の現況推計」2021年度 都道府県別データ一覧

京葉臨海コンビナート
カーボンニュートラル推進協議会

- ・立地企業への個別ヒアリング
- ・企業間の調整 等の実施

コンビナートの脱炭素化の取組を促進

カーボンニュートラルの取組

1 中小事業者等の取組を支援

- ・「千葉県中小事業者等脱炭素化支援センター」を開設(5月)
エネルギー管理士等の専門家による相談対応、訪問支援を実施

2 再エネ・省エネ設備の導入支援

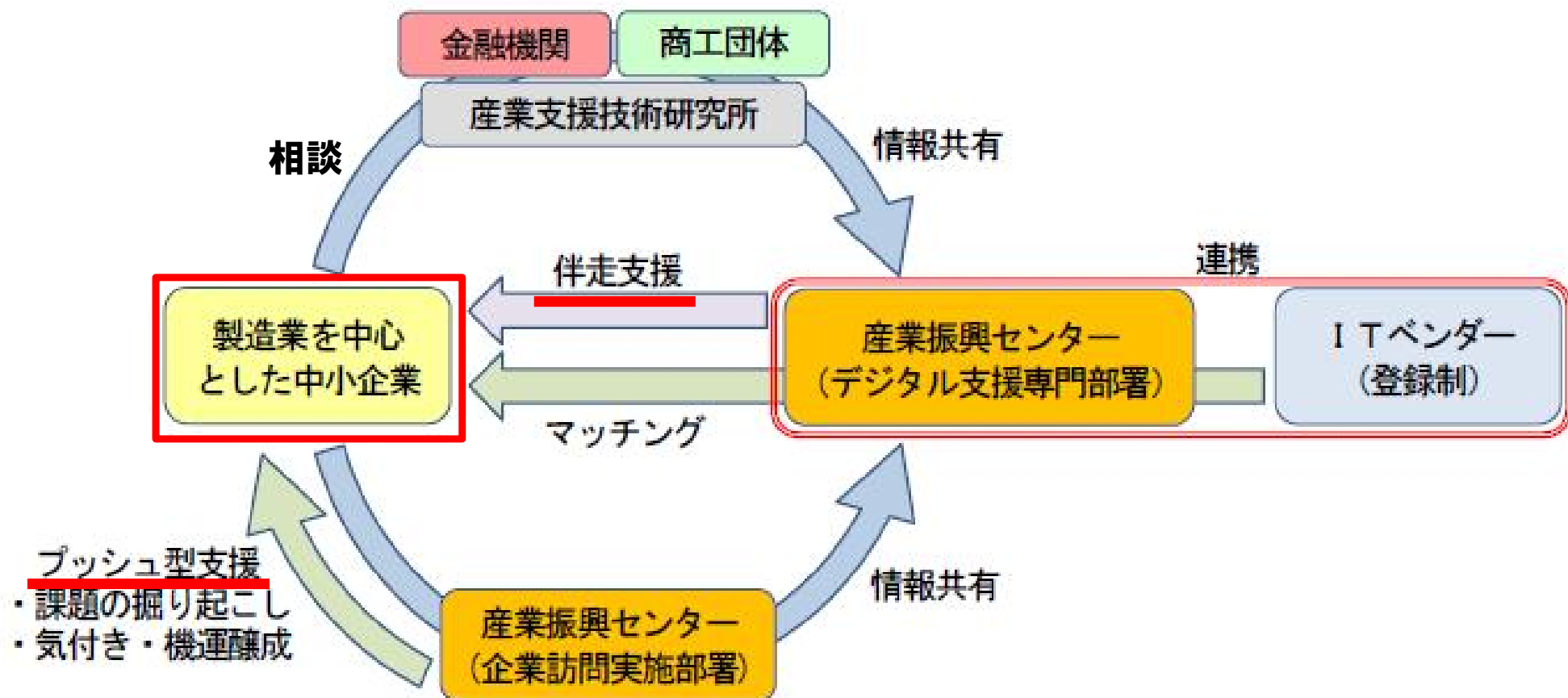
- ・蓄電池やLED照明器具、エネルギーマネジメントシステム等の
導入支援(経費の一部を助成)
- ・「環境保全資金」を利用する際の信用保証料の一部を助成

3 水素の利活用の促進

- ・物流事業等における実証事業の検討と実施体制の構築

「産業」のDX推進

～デジタル化 伴走支援体制の強化～



千葉県が誇る発酵文化・産業

千葉県では発酵の文化が豊富、産業も発展！

○醤油・みりん

⇒生産量**全国1位**！

○白みりん

⇒本県が発祥！

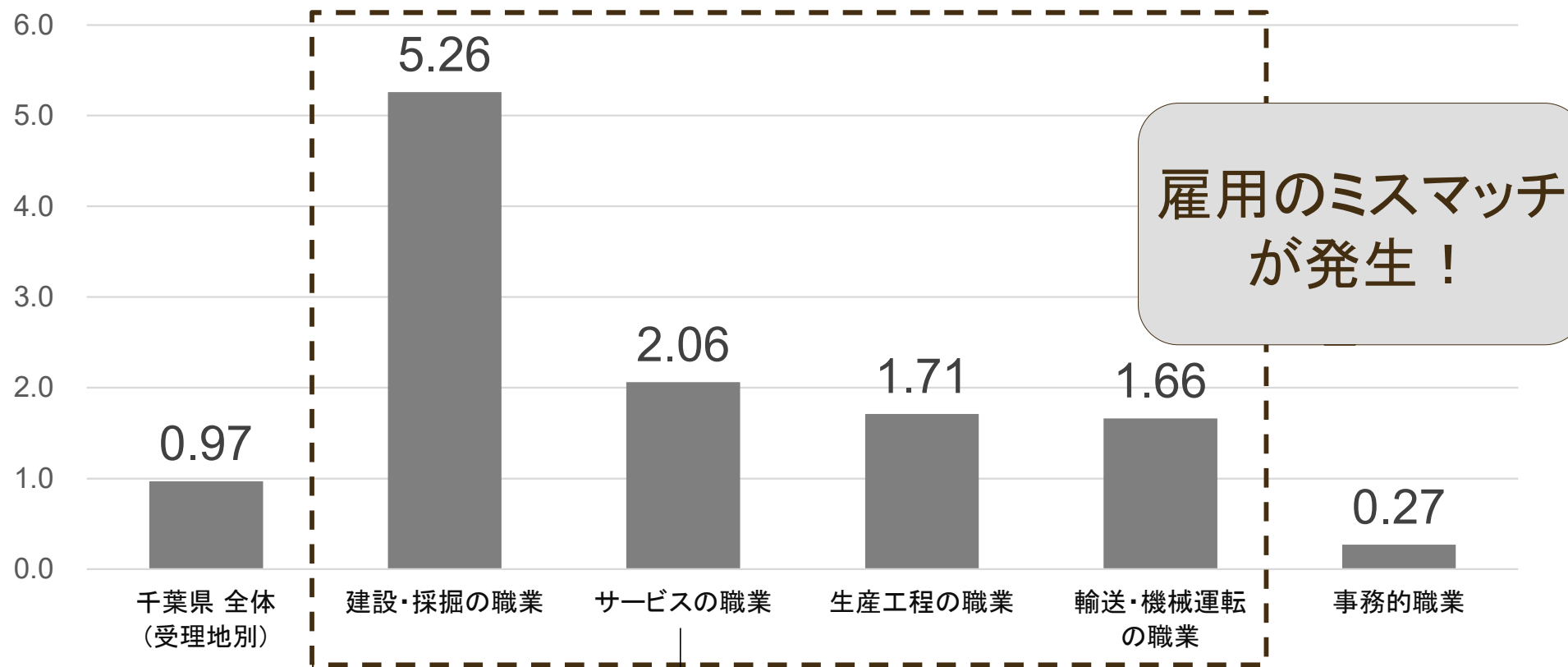


大阪・関西万博に、「発酵」をテーマに出展予定

3 県の将来を 支える人材の育成

労働市場の現状・課題

令和6年5月 有効求人倍率



雇用のミスマッチ
が発生！

介護サービス職業従事者	3.62倍
保健医療サービス職業従事者	2.32倍

出典：千葉労働局

キャリア教育の充実

課題

- ・生徒が働くことのイメージを持ちにくい
- ・様々な業務・職種に触れる機会が少ない



「キャリア教育」推進

1

職業理解・進路選択能力の育成

- ・職業理解のための映像教材
- ・中高生対象キャリア教育実践プログラム(新たに中学生にも拡充)
- ・キャリアデザイン講演会

2

主体的な高校選択の推進

- ・「専門学科を体験しよう」事業
- ・学校提案型魅力発信事業

3

学校と地域・産業界との連携・協働

- ・課題探究型キャリア教育ゼミ

4

教員研修の充実

- ・中学校教員の県立高校専門学科の視察研修(新規)

仕事体験の促進

学生等向け仕事体験ツアー

【仕事体験ツアーのイメージ】



< 参画企業をサポート >

- ・ 事前の仕事体験メニューの作成・受入体制づくりを支援
- ・ 仕事体験当日の現地での進行補助

リカレント教育の推進

1 「学びの総合窓口」の運営

- ・キャリアコンサルタント等による、リカレント・スキルアップなどのためのオンライン相談
- ・学び直しの動機付けとなるリカレント講座（社会人のための学び直しセミナー）



2 学習情報の収集及び提供

- ・生涯学習に係る情報のAIシステムによる収集及び情報提供

3 推進協議会の運営

- ・産学官で構成された協議会でリカレント教育推進のあり方を検討

教員不足の解消

1 教員採用プロモーション

- ・やりがい等を伝えるPR動画、パンフレットの作成など

2 教員採用選考の工夫

- ・「ちば夢チャレンジ特別選考」創設(大学3年次から1次選考受験可能)
(令和6年度選考の志願者数1,366名)
- ・「千の葉の先生養成塾」開講【新規】(修了者は第1次選考免除)

3 千葉大学教育学部とのモデル事業

- ・高校生等を対象としたセミナーやインターンシップ
- ・大学生(40名程度)による県内小中学校での教育活動体験

4 奨学金返還支援【新規】

- ・本県の公立学校教員採用者に対し、奨学金返還を支援

起業家の発掘から経営支援まで一貫支援

1 ちば起業家応援事業

- ・ちば起業家 大交流会の開催 (R5参加者 490名)
- ・ビジネスプラン・コンペティションの開催
(R5応募者 50名)



2 ちば起業家育成事業

- ・小中学生向け起業体験会の開催
(R5参加者 50名)
- ・高校大学生向けビジネスプラン
作成ワークショップ開催 (R5参加者 12名)



多様な働き方の推進 ～企業に対する支援～

働く人の希望に応じた**多様で柔軟な働き方**を普及

- 長時間労働の削減
- 働きやすい職場環境の整備

【主な事業】

- アドバイザーの派遣（R5:164回）
- 企業向けセミナーの開催（R5:3回開催）
- 働きやすい職場環境づくり・テレワークに係る普及啓発 など

多様な働き方の推進 ～県庁での取組～

1 フレックスタイム制の導入

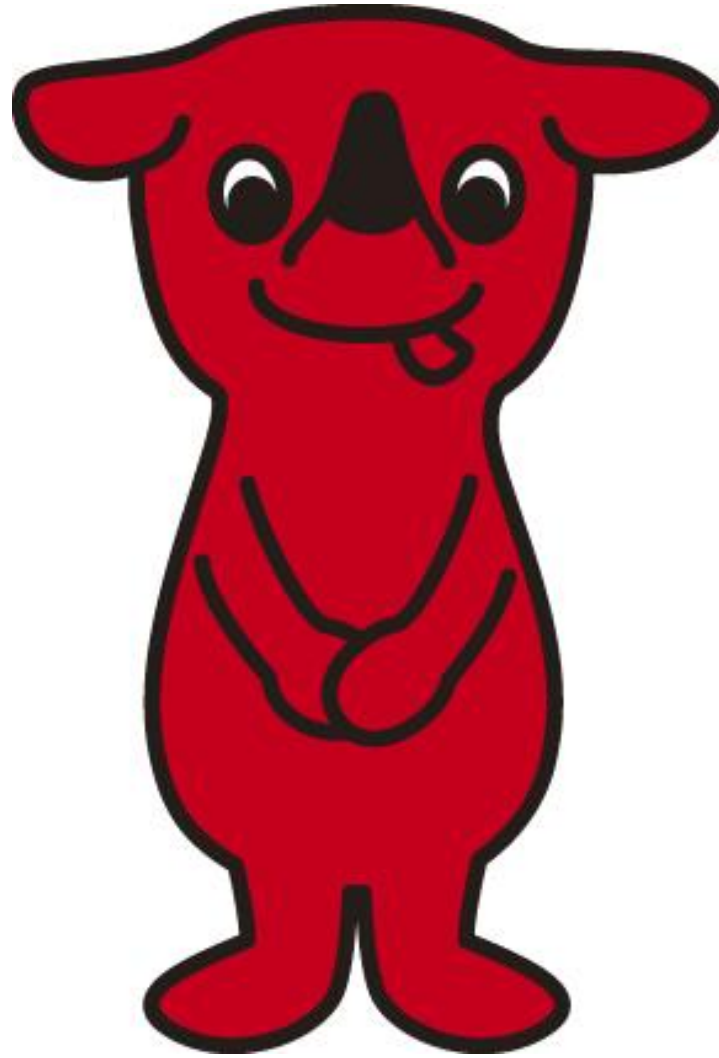
- ・原則、全職員を対象に、週休3日の選択が可能

※総労働時間を変えないまま

2 男性職員が育児休業を取得しやすい環境づくり

【男性職員の育児休業取得率】

約27% ➡ 約80%
(令和2年度) (令和5年度)



ご清聴ありがとうございました。